

平成28年度

第3回岡山市総務・市民政策審議会における主要な意見

1 日 時 平成29年1月25日（水）午前10時00分～午前11時06分

2 場 所 岡山市本庁舎3階 第3会議室

3 出席者 委員8名

4 傍聴者 報道 1名、傍聴者 0名

5 議 題

(1) 岡山市行財政改革推進プラン（仮称）の策定について

(2) 岡山市公共施設等総合管理計画（仮称）について

6 第3回岡山市総務・市民政策審議会での主な意見

(1) 岡山市行財政改革推進プラン（仮称）の策定について

- ・若い世代の方が、SNSでパブリックコメントをみんなで書こうとアピールしていた。若い世代の方々が市政に対して積極的に意見を展開していくことは社会的にも開かれている状況。SNSでの呼びかけにどれぐらい反応があったのか。
- ・ワーク・ライフ・バランスは役所が率先して積極的に推進していくことによって企業にも広がっていくことが重要だ。
- ・男性の子育て休暇取得率が100%と高く、これ以上ない数字になっているが、岡山市ではどういう取組をしているのか。
- ・経常収支比率と実質公債費比率は、高い方がいいのか低い方がいいのかということが明示されている。人件費は歳出に占める割合が高くなると膨張的になることは想像できるが、人に対するサービスという意味もあるため、良し悪しがわかりにくいので明示してはどうか。
- ・パブリックコメントの中に「もっとわかりやすい、読みやすいものも作ってほしい」というコメントがあった。非常に手がたく文章もしっかりしており、ビジュアル的にも工夫されているが、文言的には中高生には難しい所があると思う。
- ・ホームページで構わないが、わかりやすいビジュアルをいかして言葉を易しくするような高校生向けページのようなものがあれば、読んでいただける率も高くなるのではないかと。

- ・どのように伝えていくかということに関しては、パブリックコメントの意見の提出、これが一つの物差しとしては貴重なものであり、数の推移や属性等に関する情報を蓄積すると後々分析などにも使えるのではないか。

(2) 岡山市公共施設等総合管理計画（仮称）について

- ・市民の理解を得ることが非常にしんどいテーマであり、次のステップで市民の理解を得るための具体的な工夫が必要。
- ・道路や橋など国・県との大きな連携も含めたインフラが維持できるような視点が市民の理解を得るためには必要。
- ・岡山市全体をどう見ていくのかという時に、財政が非常に厳しい環境が続く中で、全てを市だけでやるのではなく、市民の意識を高めていく努力が必要で、シビックプライドに通ずるようなマインドを醸成していくべき。
- ・地域の課題への対応をハコモノを管理している課ごとにやるのではなく、市の組織が横軸で動けるような柔軟な対応が必要。
- ・市街地と周辺地域、高齢化率の高いところとは状況が異なる。高齢者に配慮し、公共施設の統廃合後、どのように対応していくか横の連携をもった説明が必要。